

令和6年度生活介護てんま事業報告

理念 ともに支え、ともに生きる

今年度より新規利用者が増加し平均利用者数は15名で利用稼働率は75%となり、前年度より利用稼働率は15%アップした。

職員も常勤職員が増加した。

今後、更なる新規利用者の獲得、稼働率アップに向け職員確保、職員育成など職員の支援体制の強化が求められる。

1 事業方針

- ・利用者の意思及び人格を尊重し、生き甲斐を十分に導き出せるように常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。
- ・利用者の自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護、生産活動及び創作的活動等の機会の提供相談その他の便宜を適切に行なった。
- ・市町村、他の指定障害者サービス事業者その他保健医療サービス、福祉サービスを提供するものとの連携を図り、総合的なサービスに努めた。

2 援助の内容

- ・利用者個々の障がい特性を理解し、日中活動（レクリエーションや請負作業等）を実施し支援した。
- ・利用者の生活スタイルや支援区分に応じた手厚い援助や、個々の要望に応えることを大切にした。
- ・落ち着いて過ごせるよう心配事や悩み、不安に対し親身に受け止め安定を図れるよう支援した。
- ・健康管理を促すためにうがい、手洗い、きめられた薬の服用について自分で自覚してできるよう見守り、確認をきちんと支援した。
- ・個別に問題が発生した際には本人、ご家族と連携を図り、解決策についての相談・検討を重ね、問題解決に努めた。

3 利用実績（令和 7 年 3 月 31 日現在）

利用 実績	令和 5 年									令和 6 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
延数	331	325	225	333	300	286	360	331	320	285	288	300	3684
開所	22	21	16	23	20	20	23	21	21	19	19	21	246
平均	15.1	15.5	14.1	14.5	15	14.3	15.7	15.8	15.3	15	15.1	14.2	15

*6 月はコロナ感染発症により 4 日間営業を停止した。

*前年度に比べ延べ人数は 659 人増加した。

*登録者数 26 名 区分 3…4 名 区分 4…4 名 区分 5…9 名 区分 6…9 名
平均区分…4.9

4 安全・安心の確保

- ・防犯、防火のセキュリティ対策としてセコムの機器導入し設置している。
夜間はセンサー対応で防犯、防火対策をしている。
- ・洪水・火災想定避難訓練

5 （１）健康、衛生管理、感染症の予防

- ・医療機関やご家族、相談支援事業所から健康管理情報の提供
- ・可能な範囲で利用時又は利用中の手指消毒、手洗い、マスク着用。
- ・心身の健康状態の観察と対応
- ・入浴時の身体衛生の奨励への助言、介護・援助
- ・清潔及び衛生面への日常的な助言、介護・援助
- ・室内の定期換気と手すりや備品消毒。

（２）職員の健康管理

- ・コロナ・インフルエンザワクチン予防接種（任意）
- ・手指消毒、手洗い、マスク着用、出勤時の検温

6 会議・研修・支援学校実習生受入れ等

職員会議（職員全員参加） 12 回（毎月）

施設内研修実施

- ・熱中症について（6 月 8 日）
- ・感染症について（7 月 6 日）
- ・障害者虐待防止法（10 月 5 日）
- ・身体拘束について（10 月 5 日）
- ・リスクマネジメント（10 月 5 日）
- ・職員間の連携、コミュニケーション（1 月 18 日）

外部研修参加

- ・参加なし

支援学校実習生受入れ状況

- ・防府総合支援学校 延人数 2 名 延日数 6 日
- ・山口大学教育学部附属特別支援学校 延人数 1 名 延日数 3 日

7 虐待の防止の遵守

職員会議で虐待防止に関する資料に基づき学習する機会をもち職員の資質向上と、「虐待はしてはならない」という意識を共有した。

8 職員体制（令和 7 年 3 月 31 日現在）

統括 1 名（常勤・兼務） 管理者・サービス管理責任者 1 名（常勤・兼務）
生活支援員 2 名（常勤・専従） 1 名（非常勤・兼務） 4 名（非常勤・専従）
看護職員 1 名（常勤・専従）

9 主な行事、余暇活動

お菓子作り、昼食作り、誕生会は誕生月該当利用者があった場合随時実施した。

その他、近隣公園への外出など積極的に行った。

年月日	内 容
4 月	ジョイフルで昼食 30 日（目標）
5 月	バーベキュー 13 日
6 月	
7 月	木下サーカス 3 日 花の海 18 日 てんま祭 20 日
8 月	
9 月	
10 月	福まち会 14 日
11 月	
12 月	日帰り旅行 14 日 クリスマス会 25 日
1 月	
2 月	映画館お出かけ 20 日（目標）
3 月	セブンイレブンで昼食を買う 31 日（目標）

*（目標）は利用者目標達成企画

10 広報誌（てんまでとどけ）発行

第 11 号 5 月

第 12 号 10 月

11 保護者との連携

- ・面談、送迎時や連絡ノートを通じ、日常生活状況等自宅での様子等の情報を共有し意見を出し合い、てんまで有意義な活動ができるよう努めた。
- ・生活・個別課題について話し合い必要に応じて保護者に協力を求めた。
- ・利用者が日常生活を快適に送るためご家族との連携を図り、ご家族から支援の力添えを得て対応した。